ISO規格によるFLD取得試験

国際規格に従った方法で成形限界線図（FLD：Forming Limit Diagram）を取得できます。

技術の特徴

- ISO 12004-2：2021（実験室におけるFLD取得試験）準拠の成形限界線取得試験を実施できます。
- 成形過程をカメラで動画撮影するため、破断に至るまでのひずみ量変化も取得できます。

評価対象材の例

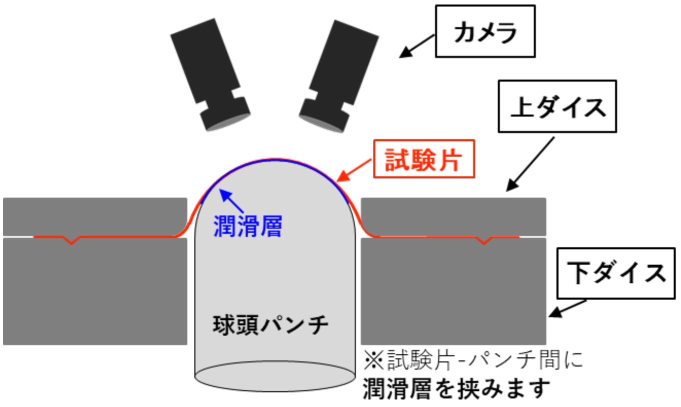
- 板厚0.3～2.5mmの鉄鋼材料（非鉄材料は応相談）

主な試験仕様

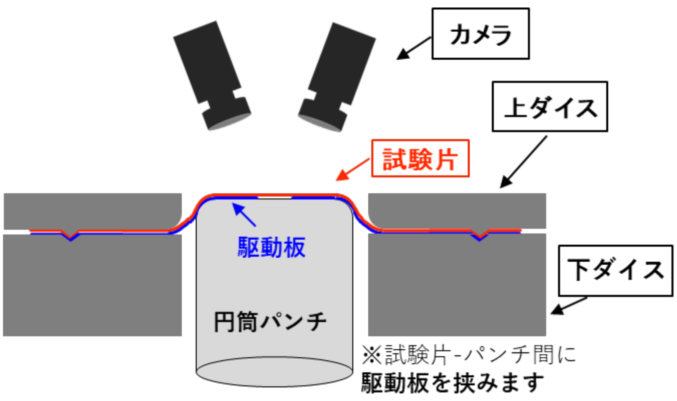
- 試験方法：中島法またはMarciniak法
- ひずみ測定方法：画像相関法
- 試験可能温度：室温(23±5℃)のみ
- 対象材必要寸法（数量）：220mm × 220mm（試験枚数分）
- 成形限界値算出法：position-dependent法(その他の方法は応相談)
- カメラ解像度：500万画素（実視野：約80x100mm）

評価事例

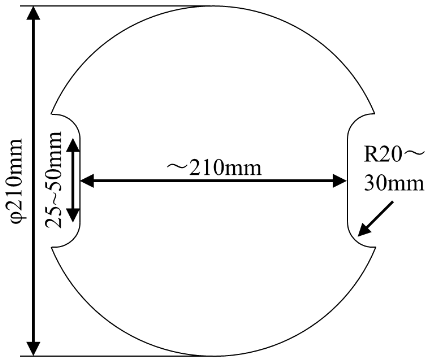
- 試験概略



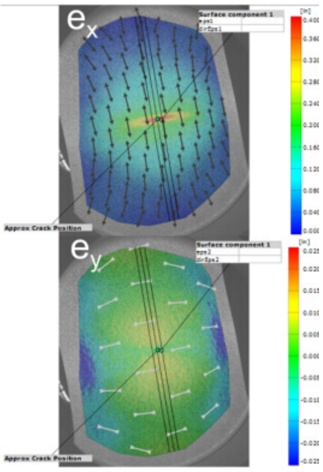
中島法



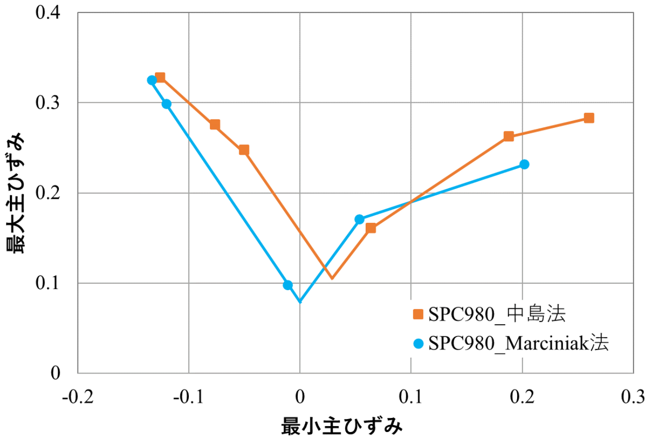
Marciniak法



試験片形状（例）



ひずみ量分布（例）



取得される成形限界線図（例）

JFE テクノリサーチ 株式会社
https://www.jfe-tec.co.jp
0120-643-777

Copyright ©2018 - 2021 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。

Cat.No 3E8J-016-02-211004